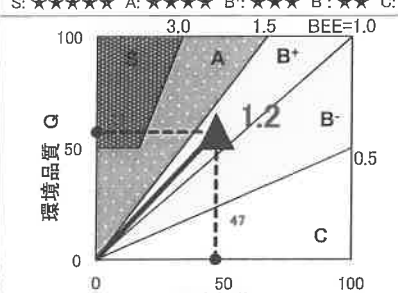
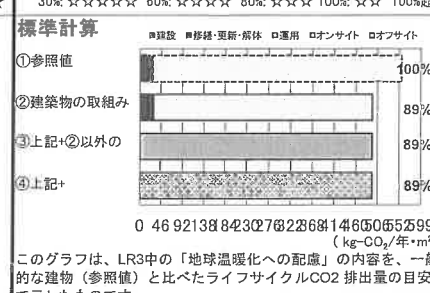
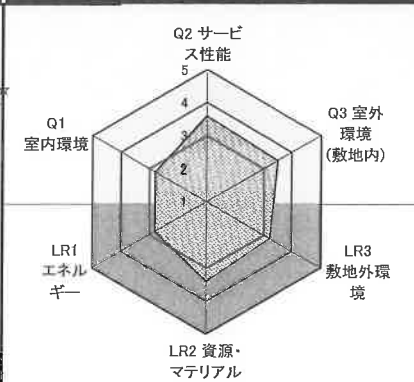


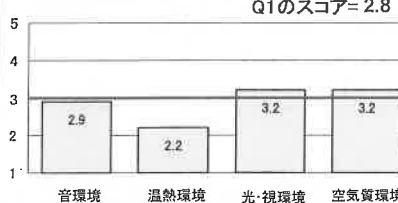


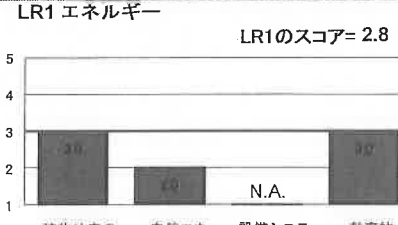
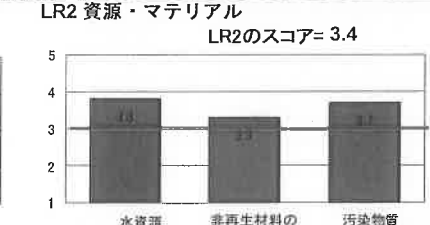
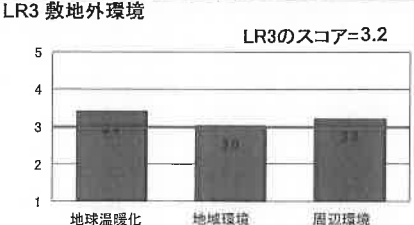
CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	同志社女子大学 京田辺新寮(仮称)	階数	5		
建設地	京都府京田辺市三山木天神山41-1	構造	RC造		
用途地域	市街緑化区域	平均居住人員	129 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	7,000 時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階			
竣工年	2020年2月 竣工	評価の実施日	2018年11月30日		
敷地面積	5,853 m ²	作成者	喜田 育樹		
延床面積	4,290 m ²	確認日	2018年11月30日		
		確認者	喜田 育樹		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> 	<p>★☆☆☆☆</p> 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p> 	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6</p> 	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5</p> 
<p>LR 資源・マテリアル LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4</p> 	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 緑豊かな景観の中に建物が溶け込む沿道景観を連続させるため、建物を分節化し、建物周囲や屋上に植栽を施すことで緑の中に建物が溶け込む計画としている。 沿道からの圧迫感に配慮し、5~10m敷地境界線から建物をセットバックし、間に植栽を施した。</p>		
<p>Q1 室内環境 ・寮室の屋上等は厚さ50mmの断熱材を用いた外断熱、外壁は厚さ25mmの内断熱、窓は複層ガラスを用いた断熱性能を向上させ、空調負荷を軽減します。 ・使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止</p>	<p>Q2 サービス性能 ・各階にラウンジ、1階に食堂、和室等の共用空間を設け、学生間のコミュニケーションを誘発する計画とした。 ・窓清掃が容易になるように建具計画を行った。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー ・太陽光発電設備を採用した。 ・寮室は東西採光とし、またバルコニーとルーバーを設け、日射を遮断する計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル ・断熱材は全てノンフロンを使用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境 緑豊かな沿道景観を連続させるため、敷地外の植栽を取りこんだ植栽計画としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される